

山教総第M0315-15号

平成21年9月28日

文部科学大臣 殿

山口県山陽小野田市長 白井博文 印

施設整備計画の事後評価について

安全・安心な学校づくり交付金交付要綱第8の1に基づき、施設整備計画における事後評価の結果を報告します。

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

① 耐震性の確保を図る整備

【達成状況】

-	計画どおり実施できた。
-	計画したが、一部実施できなかった。
-	計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	-	-
中学校	-	-
高等学校	-	-
特別支援学校	-	-
幼稚園	-	-

【所見】

--

② 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

-	計画どおり実施できた。
-	計画したが、一部実施できなかった。
-	計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

--

③ 教育環境の質的な向上を図る整備

【達成状況】

<input type="radio"/>	計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

下肢障害のある生徒が支障なく、安全かつ円滑に学校生活を送れ、きめ細やかな教育が展開できるよう、埴生中学校において、教室改造、身障者用トイレ、スロープ等を整備し、バリアフリー化した。
--

④ 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【達成状況】

-	計画どおり実施できた。
-	計画したが、一部実施できなかった。
-	計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

--

2 事後評価の時期及び方法について

事業完了後、実際に使用する生徒と先生に施設の使い勝手を確認して頂き、意見を聴取するとともに、学校に対してもアンケート調査を実施し、事後評価を行った。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

計画どおり事業を実施できており、学校からも快適性や学習活動への適応性及び安全性に関して「達成できている」との総合評価を得た。今後、他の校舎等でバリアフリー事業を実施する際には、評価結果を反映させ、良好な教育環境を整備していく。

施設整備計画 事後評価シート(個別票)

- 1 計画名称 山陽小野田市公立学校施設整備計画
- 2 計画作成主体 山陽小野田市
- 3 計画期間 平成20年度 ~ 平成20年度
- 4 個別事業一覧

都道府県名	山口県
市町村名	山陽小野田市

※ この個別票については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

学校名	整備区分	事業番号	事業名	建物区分	構造区分	事業実施の有無	(事業を実施した場合) 竣工年月日	(事業を実施しなかった場合) 実施できなかった理由及び今後の方針	施設整備計画の変更		備 考
									事由	変更年月日	
埴生中学校	③	24	大規模改造(障害)	校	R	○	平成20年10月31日				身障者トイレ、スロープ他